



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 東 大

上場会社名 ニチバン株式会社

コード番号 4218 URL <http://www.nichiban.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 直人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部長 (氏名) 酒井 寛規

TEL 03-5978-5601

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	28,847	0.8	1,422	9.2	1,415	11.9	808	52.9
24年3月期第3四半期	28,607	△0.9	1,302	△19.3	1,264	△21.9	528	△44.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 824百万円 (79.9%) 24年3月期第3四半期 458百万円 (△50.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	19.50	—
24年3月期第3四半期	12.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	45,091	24,524	54.4	591.65
24年3月期	45,461	23,950	52.7	577.75

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 24,524百万円 24年3月期 23,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	1.9	1,800	13.1	1,700	8.2	950	37.1	22.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	41,476,012 株	24年3月期	41,476,012 株
25年3月期3Q	24,044 株	24年3月期	21,924 株
25年3月期3Q	41,452,609 株	24年3月期3Q	41,454,597 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

上記の業績予想に関する事項は、添付資料P3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興関連需要等を背景にゆるやかな回復基調が見られ、さらに政権交代による景気対策の期待感から円安、株高の流れとなりつつあります。しかしながら通期では欧州に限らず新興国も含めた世界経済の減速懸念と長期化した円高の影響、個人消費の低迷などにより、厳しい状況が続きました。

このような経済情勢のなか、当グループでは中長期経営計画【NB100】のもと、収益構造の安定化に向けた「事業フィールド戦略」の着実な実践のために経営資源の選択と集中を明確に実行する取組みを行いました結果、売上高は288億4千7百万円（前年同期比0.8%増）、経常利益は14億1千5百万円（前年同期比11.9%増）、当期純利益は8億8百万円（前年同期比52.9%増）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は、次のとおりであります。

メディカル事業本部

(ヘルスケアフィールド)

当第3四半期連結累計期間のドラッグストアを中心とした大衆薬市場におきましては、ドラッグストア店頭でお客様に対して、製品の告知や販売促進の取組みを積極的に行いました。発売15周年を迎えた救急絆創膏「ケアリーヴ[®]」はお客様への感謝をこめて<限定増量パッケージ>を発売いたしました。また、3月に投入した「ケアリーヴ[®]。治す力[™]」は順調に取扱店を拡大、ファンを獲得し、既存の「ケアリーヴ[®]」シリーズとともに売上げは好調に推移いたしました。

(医療材フィールド)

当第3四半期連結累計期間の医療機関向け医療材料市場におきましては、医療機関が感染予防や安全性への取組みを継続していることから、医療の安全に貢献する低刺激製品・感染予防対策製品に注力した取組みを行いました。その中でも採血や透析後の止血に特化した「インジェクションパッドマイルド」や、カテーテルの固定・創傷保護製品のフィルムドレッシング材「カテリープラス[®]」。「カテリープラス[®]。ロール」が順調に採用されたことで売上げは好調に推移いたしました。

以上の取組みを実施してまいりました結果、ヘルスケアフィールドと医療材フィールドを合わせましたメディカル事業本部全体の売上高は99億2千2百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は19億1千万円（前年同期比4.3%増）となりました。

テープ事業本部

(オフィスホームフィールド)

当第3四半期連結累計期間の文具事務用品業界におきましては、主力ユーザーである官公庁・事業所需要が回復せず非常に厳しい状況が継続しています。機能性の高い文房具がマスコミに取り上げられる中で、テープの切り口が真っ直ぐ切れる「セロテープ[®]。直線美。mini」やこだわりの使いやすさを追求した「テープのりtenori[®]」は高い機能とデザイン性が注目され、好評をいただいています。

(工業品フィールド)

当第3四半期連結累計期間の産業用テープ業界におきましては、マスキングテープと食品関連分野において、高機能製品の拡大に向けた取組みに注力してまいりました。新製品「マスキングテープ No. 222」が市場を拡大するとともに、エコカー補助金による自動車業界の好調もあり、マスキングテープ分野は堅調に推移いたしました。食品関連分野では、中食市場に向けた取組みを継続した結果、フードパックのふた止め用テープ「セロテープ[®]。イージーオープン」が堅調に推移いたしました。フィールド全体としては経済活動の停滞の影響を受け、非常に厳しい状況が継続しています。

また、輸出につきましては東アジアとの関係悪化や欧州の財政危機などが影響し、売上が前年実績を下回る結果となりました。

以上の取組みを実施してまいりました結果、オフィスホームフィールドと工業品フィールドを合わせましたテープ事業本部全体の売上高は189億2千5百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は14億1千7百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べ3億6千9百万円減少し、450億9千1百万円となりました。また、純資産は5億7千4百万円増加し、245億2千4百万円となりました。この結果、自己資本比率は54.4%となりました。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ9億6千1百万円（9.4%）減少し、92億8千3百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前第3四半期連結累計期間に比べ7億9千4百万円（106.4%）増加し、15億4千1百万円となりました。これは主に売上債権、たな卸資産の増加額が前年同四半期に比べ減少したこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前第3四半期連結累計期間に比べ7億3千6百万円（51.6%）増加し、21億6千5百万円となりました。これは主に有形固定資産の購入等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前第3四半期連結累計期間に比べ3千3百万円（8.8%）減少し、3億4千1百万円となりました。これは主に短期借入金によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期業績予想につきましては、平成24年11月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ19百万円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,055	9,056
受取手形及び売掛金	12,452	12,520
有価証券	506	506
商品及び製品	3,002	3,008
仕掛品	1,396	1,359
原材料及び貯蔵品	1,135	1,208
その他	786	782
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	29,331	28,439
固定資産		
有形固定資産	11,555	12,091
無形固定資産	81	70
投資その他の資産	4,492	4,490
固定資産合計	16,129	16,652
資産合計	45,461	45,091
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,640	7,527
短期借入金	—	50
1年内返済予定の長期借入金	2,000	—
未払法人税等	161	316
賞与引当金	—	550
役員賞与引当金	61	48
その他	4,508	3,227
流動負債合計	14,372	11,720
固定負債		
長期借入金	—	2,000
退職給付引当金	3,552	3,300
役員退職慰労引当金	91	89
長期預り保証金	2,891	2,877
資産除去債務	91	92
その他	511	486
固定負債合計	7,138	8,846
負債合計	21,511	20,566

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,451	5,451
資本剰余金	4,186	4,186
利益剰余金	14,464	15,023
自己株式	△7	△8
株主資本合計	24,095	24,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51	55
為替換算調整勘定	△197	△184
その他の包括利益累計額合計	△145	△129
純資産合計	23,950	24,524
負債純資産合計	45,461	45,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	28,607	28,847
売上原価	20,574	20,565
売上総利益	8,032	8,282
販売費及び一般管理費	6,730	6,859
営業利益	1,302	1,422
営業外収益		
受取利息	6	10
受取配当金	9	9
持分法による投資利益	42	16
為替差益	—	8
その他	33	31
営業外収益合計	91	76
営業外費用		
支払利息	45	37
為替差損	13	—
支払手数料	31	31
その他	38	14
営業外費用合計	128	83
経常利益	1,264	1,415
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	4	0
特別損失		
固定資産除売却損	42	107
特別損失合計	42	107
税金等調整前四半期純利益	1,226	1,308
法人税等	698	500
少数株主損益調整前四半期純利益	528	808
四半期純利益	528	808

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	528	808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△32	12
その他の包括利益合計	△70	15
四半期包括利益	458	824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	458	824

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,226	1,308
減価償却費	1,361	1,275
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△272	△251
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△157	△1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	△0
有形固定資産除売却損益(△は益)	38	29
受取利息及び受取配当金	△15	△19
支払利息	45	37
売上債権の増減額(△は増加)	△482	△67
たな卸資産の増減額(△は増加)	△627	△41
仕入債務の増減額(△は減少)	465	△112
その他	△349	△235
小計	1,238	1,919
利息及び配当金の受取額	15	18
利息の支払額	△48	△42
法人税等の支払額	△458	△353
営業活動によるキャッシュ・フロー	746	1,541
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△416	△279
定期預金の払戻による収入	415	316
有形固定資産の取得による支出	△1,033	△2,189
投資有価証券の取得による支出	△401	△5
投資有価証券の売却による収入	7	—
その他	△0	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,428	△2,165
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	50
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	—	△2,000
配当金の支払額	△248	△248
その他	△125	△142
財務活動によるキャッシュ・フロー	△374	△341
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,057	△961
現金及び現金同等物の期首残高	10,495	10,245
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,438	9,283

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	メディカル事業本部 (百万円)	テープ事業本部 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,353	19,253	28,607	—	28,607
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	27	53	80	(80)	—
計	9,380	19,307	28,687	(80)	28,607
セグメント利益	1,831	1,337	3,169	(1,866)	1,302

(注) 1. セグメント利益の調整額1,866百万円には、セグメント間取引消去80百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用1,786百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	メディカル事業本部 (百万円)	テープ事業本部 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,922	18,925	28,847	—	28,847
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	49	56	105	(105)	—
計	9,971	18,981	28,953	(105)	28,847
セグメント利益	1,910	1,417	3,328	(1,906)	1,422

(注) 1. セグメント利益の調整額1,906百万円には、セグメント間取引消去105百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用1,800百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。